JSOL







































































金型設計の構想段階から最終段階までをサポートする 統合型プレス成形シミュレーションシステム

JSTAMP/NV

現場の要望を忠実に反映。

ビギナーからプロフェッショナルまで幅広くお使いいただける板成形専用シミュレーションツールです。板金プレス成形時に起こる、割れ、しわ、スプリングバックなどの不具合を予測し、対策を支援します。

Ansys LS-DYNA、JOH/NIKE に加えてワンステップ逆解析ソルバー "HYSTAMP" を搭載。 タイムリー性が重視される工程においてもユーザーのニーズに応えます。

サポート

- JSTAMPは弊社が開発した製品であり、マニュアル 類はすべて日本語です。
- ●開発元ならではの迅速な技術サポートを専任の スタッフが提供します。(電子メール、電話など)
- ●実技を含むトレーニングセミナーを定期的に開催 しています。(東京、名古屋、大阪)

コンサルティングサービス

- 導入初期における迅速な解析業務の立ち上げに ご協力いたします。
- 解析業務のアウトソーシングを承ります。
- 実験と解析とのコリレーション等のエンジニアリング サービスをご提供します。

動作環境

OS	Windows 10 Pro,	ディスプレイ解像度	1280
	Enterprise(64-bit)		Ope
CPU	Intel Core i7, Xeon	グラフィックカード	が必 VRA
メモリ	16 GB 以上(解析内容による)		動作
10-0			NVID
ハードディスク	実行時:解析内容による	ネットワークカード	必須

ディスプレイ解像度	1280×1024以上
グラフィックカード	OpenGL 対応 ハイスペックモデル が必須 VRAM 2GB以上推奨 動作実績のあるもの: NVIDIA Quadro シリーズ(M2000 など)
ネットワークカード	必須(ライセンスシステムに必要)

- ※ 自動レポート作成機能にはMicrosoft PowerPointが必要です。対応しているPowerPointのバージョンは、2013(32-bit, 64-bit版)、2016(32-bit, 64-bit版)、2019(32-bit, 64-bit版)です。
- ※ 動作環境は随時変更されます。詳細につきましては弊社営業担当にお問い合わせください。

JSTAMPの詳細については、こちらの製品サイトをご参考ください

JSTAMP

a

https://www.jsol-cae.com/jstamp/

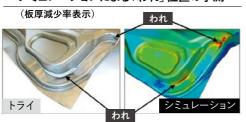




機能紹介

多工程われ・しわ予測

シミュレーションによる「われ」位置の予測



下死点でわれ発生箇所(2箇所)を的確に再現

(株式会社ジーテクト様ご提供)

シミュレーションによる「しわ」予測





トライ

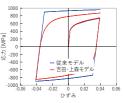
シミュレーション

下死点手前15mm位置でのリアルなしわ形状を再現

(株式会社ジーテクト様ご提供)

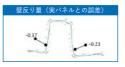
ハイテン材の高精度スプリングバック予測





(株式会社ジーテクト様ご提供)

実パネルとの誤差	面積率
0.25mm以内	32%
0.50mm以内	59%
0.75mm以内	80%
1.00mm以内	91%



高精度スプリングバック予測

- "吉田-上森材料モデル理論"をベースにした高精度 スプリングバック解析モジュール搭載
- ●バウシンガー効果、除荷ヤング率の塑性ひずみ 依存性を考慮しての解析
- ハイテン材、アルミ材にも対応

ブランクライン・トリムライン自動補正

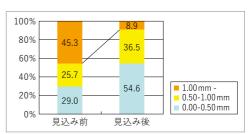


- ●製品形状からブランク形状 を高精度に予測
- ●プレス製品の材料歩留まり 検討に有効

Model Data : Numisheet 2005 Benchmark #2

- 製品形状、絞り型形状から トリムラインを予測
- 中立軸を考慮した高精度 展開が数分で計算可能

スプリングバック自動見込みと金型CAD出力



Model Data: Numisheet 2005 Benchmark #2 材質DP600 t=1.0mm

ソリッド要素によるしごき・つぶし・バーリング評価

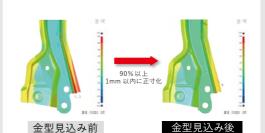




ソリッド要素を使用したバーリング加工成形予測

- 板厚減少率コンターでの評価が可能
- ●成形性評価だけでなくバーリング後の製品形状も 実物と精度よく一致
- ●しごき加工・潰し・バーリング(穴広げ)などに多彩 に適用可能

誤差1mm以内の面積率が50%程度から 90%以上に上昇



見込み金型による寸法精度改善効果

